LG
Life's Good

取扱説明書

LG ゲーミング モニター

このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください

34GN850　34GN85B　34GP83A

*LG の液晶モニターはLED バックライトを採用 した LCD 製品です。

www.lg.com

日本語

目次

ライセンス 3

組み立てと準備 4

- サポートされているドライバーとソフトウェア 4
- 製品とボタンの説明 5

OSDジョイスティックの使用方法

- モニターの持ち運び 6

テーブルへの設置
スタンドの高さの調整
見やすい角度に調整する
ケーブルの整理方法
ケンジントン(Kensington)ロック
壁掛け金具を取り付ける
壁への取り付け

モニターの接続 14

- PCに接続する 14

HDMI接続
DisplayPort接続

- AV機器の接続 15

HDMI接続

- 周辺機器の接続 16

USBケーブル接続
ヘッドホンを接続する

ユーザー設定 17

- メインメニューの表示 17

メインメニューの機能

- ユーザー設定 19

Menu設定

困ったとき 30

製品仕様 33

- 工場出荷時モード 35
- HDMI タイミング(映像) 36

ライセンス

サポートされているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.comを参照してください。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Incの登録商標です。

組み立てと準備

注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 付属品以外の使用による破損や負傷は、保証の対象外になります。
- 弊社推奨品以外の汎用ケーブルを使用すると、画面が映らなかったり画像にノイズが発生する場合があります。
- 本書のイラストは一般的な手順を図解したものであり、実際の製品とは外観が異なる場合があります。
- 製品を組み立てる際、ネジに油や潤滑油などを使用しないでください。製品が故障する可能性があります。
- ネジを留めるときに過剰な力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。過度な締め付けによって、破損が生じた場合は保証の対象外になります。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがベースから外れて落ち、けがをするおそれがあります。
- モニターを持つ場合、画面に触れないようモニターの背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。
- 本製品の外観に波紋のパターンが見られるときがあります。これは一般的なコーティングと異なり、真珠を原材料に添加することで生じるデザイン上の特性で、耐久性を高める為の処理です。製品の性能には影響しませんので、安心してご使用ください。

ヒント

- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の予告なしに変更されることがあります。

サポートされているドライバーとソフトウェア

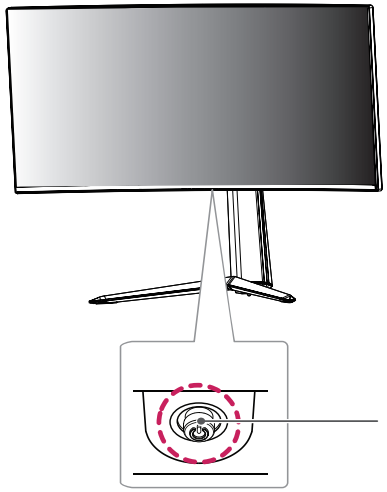
本製品はLGエレクトロニクスが提供する、モニターをより便利に活用できるソフトウェアを使用することが出来ます。
ソフトウェアは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

ドライバーとソフトウェア	インストールの優先順位
モニタードライバー	推奨
OnScreen Control	推奨

① LGエレクトロニクスのホームページ(*www.lg.com*)にアクセスします。
② ページ最上部の[サポート]から[ソフトウェアダウンロード]をクリックします。
③ [モデル番号を入力してください。]に、モデル番号(製品の型番)を入力します。
④ 本製品に対応するソフトウェアまたはデバイスドライバが表示されるので、使用しているOSをご確認の上、ファイルを選択してください。

※ ホームページ(*www.lg.com*)のダウンロードの手順、レイアウト、構成は変更される場合があります。

製品とボタンの説明



OSDジョイスティック/電源LED

- オン：電源オン
- オフ：電源オフ

OSDジョイスティックの使用方法

OSDジョイスティックを指で押したり、前後左右に動かすことで各種機能を簡単に操作できます。

基本機能

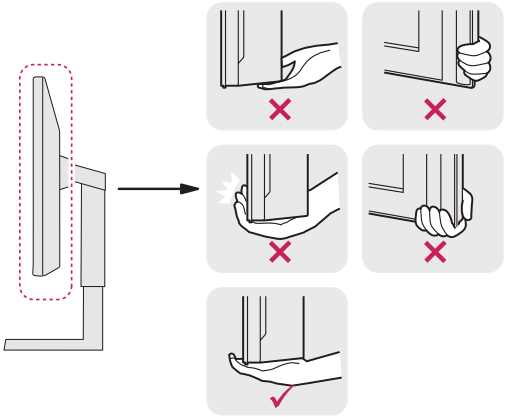
		**電源オン**	OSDジョイスティックを指で押すと、モニターの電源がオンになります。
		**電源オフ**	OSDジョイスティックを指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。
	◄／►	**音量コントロール**	OSDジョイスティックを左右に動かすことで音量を調整できます。
	▲／▼	**画面の明るさの調整**	OSDジョイスティックを上下に動かすことで画面の明るさを調整できます。

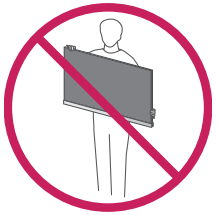
ヒント

- OSDジョイスティックはモニターの底面に付いています。
- OSD：On Screen Display (オンスクリーンディスプレイ)

モニターの持ち運び

- モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの損傷や破損を防いで安全に輸送できるように、形状やサイズに関係なく、以下の指示に従ってください。
- モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材を使用してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを持ち運ぶ前に、電源コードおよびその他すべてのケーブルを取り外してください。
- モニターのフレームの側部および下部をしっかり持ち、液晶パネル(画面)には触れないようにしてください。

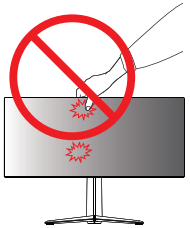




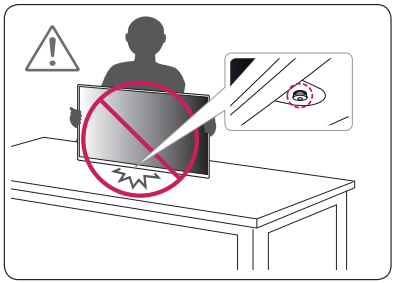
- モニターを持つ場合、画面に触れないようモニターの背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。
- モニターを運ぶ際は、モニターに衝撃を与えたり、過度な振動を与えないでください。
- モニターを運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。

注意

- モニター画面には触れないでください。
  - 画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。

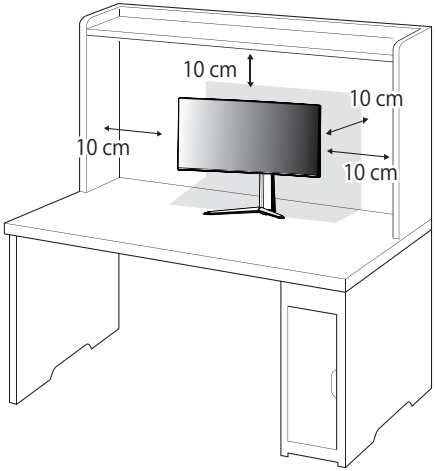


- モニターの底面にはOSDジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないとモニターが倒れるおそれがあり、モニターの損傷またはケガの原因となります。また、OSDジョイスティックが破損するおそれがあります。



テーブルへの設置

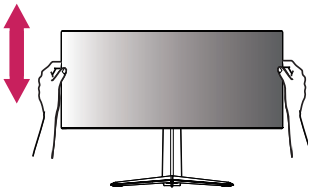
1 モニターを持ち上げ、直立させた状態でテーブルに置きます。
十分な通気性を確保するため、背後および周囲10 cm 以上の空間を空けて設置してください。



スタンドの高さの調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。(液晶パネルには触れないようにしてください。)

最長110.0 mm



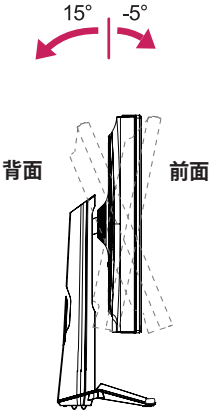
警告



- 画面の高さを調整するときに、画面とスタンドベースの間に手を置くと、はさんでケガをするおそれがあります。スタンドベースの上に手を置かないようにしてください。

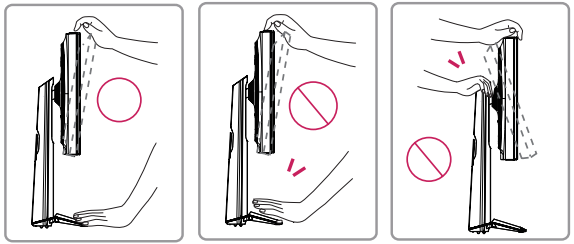
見やすい角度に調整する

1 スタンドに取り付けたモニターを直立させた状態で設置します。
2 画面の角度を調整します。
画面の角度は、快適に見られるように-5°～15°の範囲で前後に調整できます。

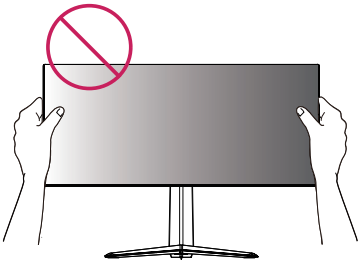


警告

- 画面の角度を調節するときは、スタンドベースとモニター本体の間に指や手を置かないでください。はさんで負傷をする恐れがあります。

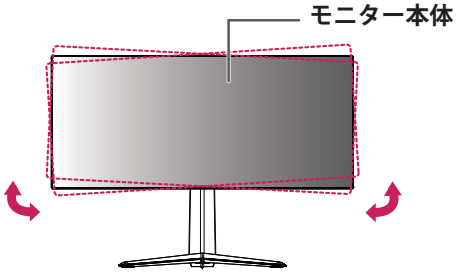


- 画面の角度を調整するときは、フレームを持って調整してください。画面のパネルには触れないようにしてください。



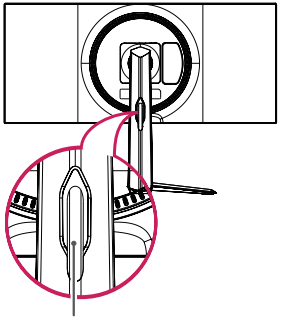
ヒント

- モニターヘッドの左側または右側が少し(3°まで)上下に回転させたりすることができます。画面が水平になるように調整します。



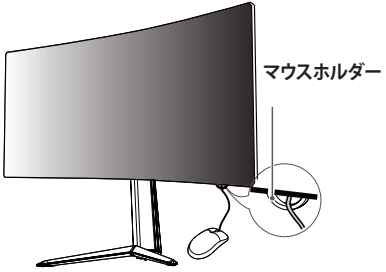
ケーブルの整理方法

イラストのように、ケーブルホルダーでケーブル類をまとめることをお勧めします。



ケーブルホルダー

マウスホルダーはモニターを正面から見て、右側の下に取り付けることができます。
有線マウスを使用している場合は、マウスホルダーにケーブルを通すことで、マウス操作が快適になります。



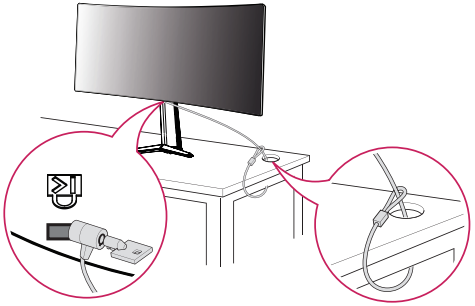
マウスホルダー

ケンジントン（Kensington)ロック

ケンジントンロックを利用することにより盗難防止の効果があります。
ケンジントンロック用のスロットは、モニターの底面にあります。取り付けと使い方の詳細については、ケンジントンセキュリティシステム付属の取扱説明書を参照するか、ケンジントン社ホームページをご覧ください。

ケンジントンロックのケーブルでモニターをテーブルに固定します。

ケンジントン社ホームページ：http://www.kensington.com



ヒント

- ケンジントンロックのお求めは通販サイトを参照いただくか、最寄りのPCショップや家電量販店にお問い合わせください。

壁掛け金具を取り付ける

壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具（別売）を取り付けます。

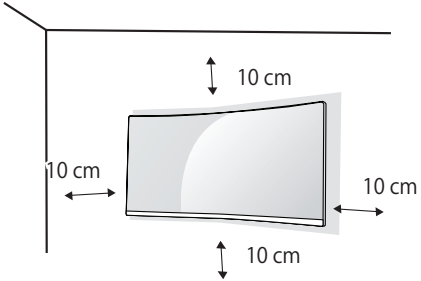
1 画面を下向きにして置きます。画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いてください。
2 スタンド結合面にある4本のネジを反時計回り(左回り)に回して外します。
3 モニターの上に壁掛け用プレートを置き、ネジ穴を合わせます。
4 ネジ(4箇所)を時計回りに締めて、壁掛け金具をモニターの背面に固定します。

ヒント

- 壁掛け金具は別売りです。
- 詳細については、壁掛け金具付属の取扱説明書をご覧ください。また、取り付けに必要な部品は壁掛け金具に付属しています。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。

壁への取り付け

適切な通気性を確保するため、背後および周囲10 cm 以上の空間を空けて設置してください。設置に関しては、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。



モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け金具(別売)をモニターの背面に取り付けます。
壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

1 ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの 内部が損傷する恐れがあります。
2 VESA規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。対象となるネジ以外を使用したことによる事故については、保証の対象外となります。

壁掛け(mm)	100 x 100
標準のネジ	M4 x L10
必要なネジの数	4

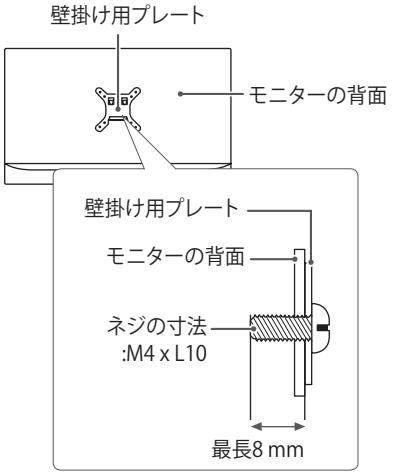
ヒント

- VESA規格に準拠したネジを使用してください。
- 壁かけに必要な部品や、マニュアルは壁掛け金具に付属されています。設置に関する詳細は、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。
- 壁掛け金具は別売品です。お求めは最寄りのPC ショップや家電量販店にお問い合わせください。
- ネジの長さは取り付ける壁の状態や素材によって異なります。適切な種類と長さのネジを使用してください。

注意

- 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルを取り外さずに移動、設置すると落下してケガや感電のおそれがあります。
- モニターは天井や傾斜面には取り付けないでください。落下して重大なケガをする恐れがあります。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- 正規品以外の壁掛け金具を使用したり、ネジの締め過ぎ等による損傷は保証の対象外となりますので注意してください。
- 取り付けの不備による製品の損傷または落下した場合は保証の対象外となりますので十分ご注意の上、作業してください。

- VESA規格に準拠した壁掛け金具とネジを使用してください。不適切な付属品の使用、または誤った使用方法による損傷は、本製品の保証の対象外になります。
- 壁掛け用のネジ穴の深さは8mmです。



モニターの接続

• 実際の製品とは若干異なる場合があります。
OSDジョイスティックを押し、**[Menu]** → **[入力]**の順に選択し、映像が出力される機器に接続した端子を選択します。

注意

• 液晶パネルに触れないでください。映像が乱れることがあります。
• 映像の焼き付きを防ぐため、スクリーンセーバーなどを使用して、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。

ヒント

• 電源コードをコンセントに接続する際には、アース付きマルチソケットまたはコンセントをご使用ください。
• 本機が冷えた状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
• 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

PCに接続する

• 本機は、プラグアンドプレイに対応しています。
* プラグアンドプレイ：PCに機器を接続して電源をオンにすると、設定や操作をしなくても、PCで認識してOSの標準ドライバがインストールされます。

HDMI接続

PCとモニターをHDMI端子でデジタル接続します。

ヒント

• HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
• HDMI ロゴの付いた規格が保証されたHDMIケーブルをご使用ください。
HDMI Licensing Administrator, Inc.で認証されていないHDMIケーブルやハイスピードに対応してない標準HDMIケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
• 推奨のHDMIケーブルのタイプ
- ハイスピードHDMI®/™ケーブル
- イーサネット対応ハイスピードHDMI®/™ケーブル

DisplayPort接続

PCとモニターをDisplayPort端子でデジタル接続します。

ヒント

- PCのDisplayPortのバージョンによっては、映像出力または音声出力に対応していないことがあります。
- Mini DisplayPort出力を実装したグラフィックカードまたはPCと接続する場合は、DisplayPort1.2または1.4をサポートしたDisplayPort-Mini DisplayPortケーブルまたは、変換コネクタを使用してください。(ケーブル、コネクタは別売です)
- 弊社推奨品以外のケーブルを使用すると、画面が映らない、画面にノイズが発生など、正常に作動しないことがあります。

AV機器の接続

HDMI接続

AV機器とモニターをHDMI端子でデジタル接続します。

ヒント

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証されたHDMIケーブルをご使用ください。HDMI Licensing Administrator, Inc.で認証されていないHDMIケーブルやハイスピードに対応してない標準HDMIケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 推奨のHDMIケーブルのタイプ
  - ハイスピードHDMI®/™ケーブル
  - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/™ケーブル

周辺機器の接続

USBケーブル接続

製品のUSBポートは、USBハブとして機能します。
USB 3.0を使用する場合は、付属のUSBケーブル(A-Bタイプ)でモニターのUSBアップストリーム端子とPCとを接続します。
USB ダウンストリーム端子に接続された周辺機器をPCから操作できます。

ヒント

- 使用する前に、PCに最新のWindows OSサービスパックがインストールされていることを確認してください。
- 周辺機器は別売りです。
- キーボード、マウス、USBデバイスをUSBダウンストリーム端子に接続できます。

注意

USBデバイス使用時の注意事項

- 自動認識プログラムがインストールされているUSBデバイスや独自のドライバーを使用するUSBデバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
- 一部のUSBデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
- 電源のあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします（供給電力が十分でない場合、USBデバイスが正しく認識されないことがあります）。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホン端子(ミニプラグ) に、ヘッドホン、イヤホン、スピーカーなどを接続できます。

ヒント

- 周辺機器は別売りです。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L字型のコネクタの場合、モニターの筐体と干渉して差しこめなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L 型タイプ



ストレート タイプ

- PC および外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が制限されることがあります。

ユーザー設定

メインメニューの表示

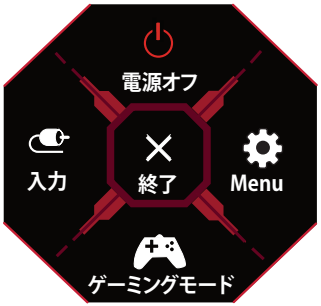
1 モニターの底面にあるOSDジョイスティックを押します。
2 OSDジョイスティックを前後(▲/▼)、左/右(◄/►)に倒して各種設定を行います。
3 OSDジョイスティックをもう一度押すとメインメニューが終了します。



OSDジョイスティック

ボタン	メニューの状態		説明
	メインメニュー非表示時		メインメニューを表示します。
	メインメニュー表示時		メインメニューを終了します。 (長押しするとモニターがオフになります。 OSDを表示している際もオフにできます。)
	◄	メインメニュー非表示時	ヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を調節します。
		メインメニュー表示時	**[入力]**機能に移動し、画面に表示する入力端子を選択します。
	►	メインメニュー非表示時	ヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を調節します。
		メインメニュー表示時	**[Menu]**機能に移動し、モニターの各種設定を行います。
	▲	メインメニュー非表示時	モニターの明るさを調節します。
		メインメニュー表示時	モニターをオフにします。
	▼	メインメニュー非表示時	モニターの明るさを調節します。
		メインメニュー表示時	**[ゲーミングモード]**機能に移動し、ゲームに適したモードに素早く切り替えることができます。

メインメニューの機能



メインメニュー	説明
入力	表示させる入力端子を選択します。
電源オフ	モニターをオフにします。
Menu	モニターの各種設定メニューを表示します。
ゲーミングモード	ピクチャーモード をゲームのジャンルに合わせたモードに変更することができます。
終了	メインメニューを終了します。

ユーザー設定

Menu設定

1 **[Menu]**の表示は モニター底面にあるOSDジョイスティックを押します。
2 OSDジョイスティックを右 (►) に倒して、**[Menu]**を選択すると、設定メニューが表示されます。
3 OSDジョイスティックを前後左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
4 目的の設定項目上でOSDジョイスティックを押すと設定項目の表示や決定ができます。
5 設定メニューを終了させる場合は、OSDジョイスティックを左(◄)に数回(設定メニューの階層によります)倒します。



ゲーミングモード



ゲーム機能設定



画像調整



入力



全般

SDR(HDR非対応の映像)信号受信時の[ゲーミングモード]の設定メニュー

Menu > ゲーミングモード		説明
ゲーミングモード	ゲーマー 1	お好みの画質や機能を保存、適用することができます。**[ゲーマー1]**または**[ゲーマー2]**を選択後**[ゲーム機能設定]**、**[画質調整]**を行います。設定された内容はそれぞれを選択すれば適用されます。
	ゲーマー 2	
	FPS	FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。暗い映像のFPSゲームに最適化されたモードです。
	RTS	RTS(Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
	鮮やか	映像をより鮮やかに表示します。
	ブルーライト低減モード	画面表示を紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、設定メニューで**[明るさ]**の調節ができます。
	HDR効果	通常の映像(SDR)をHDRに近い画質で表示します。
	sRGB	sRGBの色空間で表示します。

HDR信号受信時の[ゲーミングモード]の設定メニュー

<table>
<tr><th colspan="2">Menu > ゲーミングモード</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="6">ゲーミングモード</td><td>ゲーマー 1</td><td rowspan="2">お好みの画質や機能を保存、適用することができます。[ゲーマー1]または[ゲーマー2]を選択後[ゲーム機能設定]、[画質調整]を行います。設定された内容はそれぞれを選択すれば適用されます。</td></tr>
<tr><td>ゲーマー 2</td></tr>
<tr><td>FPS</td><td>FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。暗い映像のFPSゲームに最適化されたモードです。</td></tr>
<tr><td>RTS</td><td>RTS(Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。</td></tr>
<tr><td>鮮やか</td><td>映像をより鮮やかに表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒント
• OS(Windows 10)の設定によっては、HDRの設定が適切に操作できないことがあります。Windows 10のHDRに関する設定のオン/オフを確認してください。
• グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、文字や写真の表示品質が正常に出力されない場合があります。
• グラフィックカードのによっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、[入力]を変更したり電源をオンにした際に、画面が点滅したりちらつきが発生する場合があります。</td></tr>
</table>

Menu > ゲーム機能設定		説明	
ゲーム機能設定	Overclock	**オン**	パネルの基本仕様よりも高いリフレッシュレートに設定します。
		オフ	**[Overclock]**をオフにします。
		ヒント • 設定をオンにした場合は、モニター再起動後に、GPUコントロールパネルでリフレッシュレートの設定を変更します。 • 本機能はDisplayPort接続時のみ設定可能です。 • **[Overclock]**機能の機能や性能は、グラフィックカードやゲームコンテンツによって異なります。 • この機能は弊社が動作を保証する機能ではありません。オーバークロックは自己責任のもと行ってください。万が一有効にすることで生じた不具合等に関しては保証の対象外となります	

<table>
<tr><td rowspan="4">ゲーム機能設定</td><td rowspan="3">Adaptive-Sync</td><td colspan="2">映像のフレームレートとモニターのリフレッシュレートを自動的に同期させる機能です。
フレームレートが一定でない映像(ゲームなど) を表示したときに発生するティアリング(ちらつき) やスタッタリング(カクつき) を抑えることができます。

⚠ 注意
• HDMIインプットには、メニュー名は、[Adaptive-Sync]ではなく認証されたAMD FreeSync Tierとして表示される。([FreeSync] / [FreeSync Premium] / [FreeSync Premium Pro])
• この機能を使用するためには、対応APUを搭載したPCまたはGPUを搭載した グラフィックカードが必要です。
• AMD RADEON™ FreeSync™テクノロジーはHDMIとDisplayPortで対応します。NVIDIA® G-Sync Compatibleは DisplayPortのみ対応します。
• G-SYNC CompatibleはGeForce GTX10シリーズ またはRTXシリーズのみサポートしています。
• 詳細な情報はAMD社またはNVIDIA社のホームページでご確認ください。</td></tr>
<tr><td>オン</td><td>Adaptive-Sync機能を有効にします。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>Adaptive-Syncをオフにします。</td></tr>
<tr><td>ブラック
スタビライザー</td><td colspan="2">見えづらい画面の暗い部分を明るく表示し、視認性を高めます。
[High]/[Middle]/[Low]/[オフ]の4段階で選択できます。
[High]に設定すると、暗い部分が見えやすくなります。[Middle]、[Low]に設定するに従い、明暗の差が大きくなり鮮明な映像表示になります。</td></tr>
</table>

ゲーム機能設定	**応答速度**	パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。 標準的な環境の場合、**[Fast]**を使用することをお勧めします。 動きの速い映像の場合、**[Faster]**を使用することをお勧めします。 **[Faster]**に設定すると、残像（オーバーシュート）が発生することがあります。その場合は、表示ソースに合わせて適切な速度に設定してください。	
		Faster	液晶パネルの応答速度を高速にします。
		Fast	液晶パネルの応答速度を中程度高速にします。
		Normal	液晶パネルの応答速度をやや高速にします。
		オフ	オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度になります。
	クロスヘア	FPS(First Person Shooting) ゲームのプレイ用に、画面中央にクロスヘア(十字マーク) を表示します。クロスヘアはゲームタイトルに応じて適したデザインを4 種類から選択できます。 • モニターがオフまたは省電力モードになると、クロスヘア機能は自動的にオフになります。	
	ゲーム機能設定初期化	**No**	リセットを行わず、メニュー選択に戻ります。
		Yes	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

Menu > 画像調整		説明	
画像調整	明るさ	画面の明るさを調整します。	
	コントラスト	画面のコントラストを調整します。	
	シャープネス	画面のシャープさを調整します。	
	ガンマ	モード 1 モード2 モード3	ガンマ値を補正します。[モード1] に設定すると中間色が明るく、[モード3] に設定すると中間色を暗く表示されます。
		モード 4	ガンマ設定を調整する必要がない場合は、[モード4]を選択してください。
	色温度	ユーザー設定	**[R/G/B]**で設定したお好みの色合いで表示します。
		Warm[暖色]	画面の色温度を暖色系（より赤い）に設定します。
		Medium[中間]	画面の色温度を中間に設定します。
		Cool[寒色]	画面の色温度を寒色系（より青い）に設定します。
		マニュアル	お好みの色温度に微調整することができます。
	R/G/B	R(赤)G(緑)B(青) 各色の強弱を手動で設定します。	
	6色相環	6色相環（赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエロー）の色合い、彩度を調整して、より詳細なお好みの色を設定できます。	
		色合い	各色の色相を調節します。
		彩度	各色の彩度を調整します。指定色の値を大きな数値に設定すると、その色味が強くなり、小さな数値に設定すると色味を失いグレーに近い色合いになります。

画像調整	**ブラックレベル**	モニターで表示できるもっとも暗い色のレベルを調整します。(HDMI接続のみ)	
		High	映像信号の情報をそのまま表示します。
		Low	暗い部分が暗くなり、シャープな色合いで表示されます。
	DFC	**オン**	明るさとコントラストを画面に合わせて自動的に調整します。
		オフ	[DFC]機能を無効にします。
	ピクチャーモード初期化	**No**	リセットを行わず、メニュー選択に戻ります。
		Yes	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

Menu > 入力		説明	
入力	入力選択	各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。	
	アスペクト比	画面のアスペクト比(縦横比)を調整します。	
		全画面	映像信号の入力に関係なく、画面全体に表示します。
		オリジナル	映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
		ヒント • 本機の推奨解像度(3440 x 1440)で表示している場合は、[全画面]、[オリジナル]を設定 していても、表示される映像は変わりません。	
	自動入力切替	[オン]に設定すると、新たにケーブルを接続したときに、自動的に新しい入力端子に切り替わります。	
		オン	[自動入力切替]を有効にする。
		オフ	[自動入力切替]を無効にする。

Menu > 全般		説明	
全般	言語	OSD メニューなど、画面に表示される言語を選択します。	
	SMART ENERGY SAVING	**High**	SMART ENERGY SAVING（スマート エナジーセービング）を有効にして、より効果的に消費電力を抑えます。
		Low	SMART ENERGY SAVING（スマート エナジーセービング）を有効にして、消費電力を抑えます。
		オフ	SMART ENERGY SAVING（スマート エナジーセービング）を無効にします。
		ヒント • 省エネの数値はパネルの種類やパネルの製造メーカーによって異なる場合があります。 • **[SMART ENERGY SAVING]**の設定が有効になっている場合、ソースの違いによって、モニターの明るさが低くなったり高くなったりする。	
	電源LED	**オン**	電源LEDを自動でオンにします。 • オンモード：赤 • スリープモード(待機モード)：赤く点滅 • オフモード：オフ
		オフ	電源LEDをオフにします。ただし、モニターの電源を入れたときに起動を知らせるため一時点灯します。
	自動スタンバイ	一定時間、表示されている映像に変化がない場合に自動的にモニターの画面をオフにする機能です。自動で画面がオフになるまでの時間を設定します。(**[オフ]**、**[4時間後]**、**[6時間後]**、**[8時間後]**)	
	HDMI互換モード	接続した映像機器がHDMI2.0に準拠しない場合、正常に映像が出力されないことがあります。その際はこの機能をオンにします。	
		オン	**[HDMI互換モード]**を有効にする。
		オフ	**[HDMI互換モード]**を無効にする。
		ヒント • 接続した映像機器がHDMI 2.0に準拠しない場合、映像や音声が正常に出力できない可能性があります。 • HDMI 2.0非対応のHDMI端子を搭載している従来のグラフィックカードを使用していても、WindowsのコントロールパネルでHDMI 2.0準拠の解像度と垂直走査周波数を設定することができますが、映像が正常に表示できないことがあります。	
	DisplayPort バージョン	接続機器が準拠するDisplayPortと同じバージョン([1.4]/[1.2]/[1.1])に設定してください。HDRの映像を表示させる場合は[1.4]に設定してください。	

全般	可変バックライト	映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動的に調整します。	
		Faster	動きの速いPCゲームなどにお薦めします。
		Fast	コンソールゲーム機などにお薦めします。
		Normal	動画再生やインターネットまたは作業時にお薦めします。
		オフ	可変バックライトをオフにして、[明るさ]で設定した値で表示します。
		ヒント • 本機能を有効にしたとき、わずかなハロー効果が表示される場合がありますが、故障や動作不良ではありません。 • 本機能はHDRのコンテンツ再生時のみ使用できます。 • ゲーム以外の用途では本機能をオフにすることをお勧めします。	
	Beep音	モニター起動時に鳴るビープ音のオン、オフを設定できます。	
		オン	モニターの**[Beep音]**を有効にします。
		オフ	モニターの**[Beep音]**を無効にします。
	OSDロック	OSD の設定可能な項目を制限します。	
		オン	**[OSDロック]**を有効にします。
		オフ	**[OSDロック]**を無効にします。
		ヒント • 設定可能な項目を制限します。**[オン]**にしても設定が可能な項目は以下の通りです。 - **[画像調整]** > **[明るさ],[コントラスト]** - **[入力]** - **[全般]** > **[OSDロック]/[表示情報]** 上記以外の項目を設定するときは、**[OSDロック]** をオフにしてください。	
	表示情報	表示情報には、電源投入時間合計、解像度 。	
	初期化	**No**	リセットを行わず、メニュー選択に戻ります。
		Yes	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

困ったとき

画面に何も表示されない	
画面に何も映らない	• 電源コードがコンセントに正しく接続されているかを確認してください。 • モニターの電源ボタンを押してモニターの電源が入っているかを確認してください。
電源をオンにして、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	• 接続機器が黒画面を出力している可能性があります。接続機器が正常に動作しているかを確認してください。
電源ランプが点滅している	• PCがスリープモードになっている可能性があります。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、PCの省電力モードを解除してください。 • PCの電源が入っているか確認してください。
画面に**[推奨解像度での表示をおすすめします。映像がちらついたり、画面が正常に表示されない場合は、取扱説明書の「困ったとき」を確認してください。]**と表示される	• PC（グラフィックカード）から伝送された信号が、モニターの水平走査周波数または垂直走査周波数の範囲から外れている場合に表示されます。 • 本取扱説明書の「製品仕様」を参照して、OS上で適切なリフレッシュレート(垂直走査周波数)と解像度を設定してください。 • 変更方法は次ページのヒントを参照してください。
画面に**[信号が見つかりません。]**と表示される	• モニターに映像信号が伝送されていないときに表示されます。接続機器やモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。また、接続機器が正常に起動しているかを確認してください。 • 入力端子が正しく選択されていない可能性があります。OSDジョイスティックを押してから左に倒して**[入力]**を選択して映像が出力されている端子になっているかを確認してください。
OS上でモニターがうまく認識しない	• 弊社のウェブサイト（*http://www.lg.com*）からディスプレイのドライバーをインストールすることを確認してください。 • グラフィックカードがプラグアンドプレイに対応しているか確認してください。
映像が正常に表示されない	• 接続したグラフィックカードの映像出力端子がHDMI 2.0またはDisplayPort1.4に準拠しているか確認してください。グラフィックカードの映像出力端子が、それぞれの規格に対応していない場合は、下記のとおり設定してください。 HDMI接続：OSDメニューを**[Menu]**>**[全般]**の順に選択し、**[HDMI互換モード]**を**[オン]**に設定します。 DisplayPort接続：OSDメニューを**[Menu]**>**[全般]**の順に選択し、**[DisplayPortバージョン]**を接続デバイスのDispalyPort出力と同じバージョンに設定します。

画面に残像が生じる	
モニターの電源を切っても残像が見える	• 静止画映像を長時間表示すると、画面に焼きつき、残像が生じることがあります。 • モニターの映像を長時間使用する場合は、OS でスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される	
画面がちらつく	• 選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz（インターレース）の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を1080pまたは推奨解像度に変更してください。

ヒント

- **垂直走査周波数**：映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。1 秒間で画面が切り替わる回数を「垂直走査周波数」または「リフレッシュ レート」と呼びます。単位はHz です。
- **水平走査周波数**：横線1本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1秒間で表示される横線の数は、1を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを垂直走査周波数と呼びます。単位はkHzです。
- OS(オペレーティングシステム)上で、グラフィックカードの解像度またはリフレッシュレート(垂直走査周波数)がモニターの許容範囲内かを確認し、推奨される(最適な)解像度に設定してください。
  解像度：以下の順に選択し、メニュー内の**解像度**を変更します。
  - Windows 7：[コントロールパネル] >[画像の解像度の設定]
  - Windows 10：[Menu]>[システム]>[ディスプレイ]>[ディスプレイの詳細設定]

  垂直走査周波数：以下の順に選択し、メニュー内の**画面のリフレッシュレート**を変更します。
  - Windows 7：[コントロールパネル] >[画像の解像度の設定]>[詳細設定]>[モニター]タブ
  - Windows 10 ：[Menu]>[システム]>[ディスプレイ]>[ディスプレイの詳細設定]>[アダプターのプロパティを表示]>[モニター]タブ

  *選択手順はOSのバージョンによって異なる場合があります。
- グラフィックカードを推奨される（最適な）解像度に設定しないと、文字がぼやけたり、画面がかすれたり、 表示画像が表示領域からはみ出したり、表示位置がずれたりすることがあります。
- 調整の手順は、お使いのPCまたはOSによって異なる場合があります。また、グラフィックカードによっては、解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、PCまたはグラフィックカードの製造元にお問い合わせください。
- PCやグラフィックカードによっては、解像度 3440 x 1440 をサポートしていない場合があります。この解像度を表示できない場合は、グラフィックカードのデバイスドライバを最新に更新するか、グラフィックカードの取扱説明書やホームページで解像度の対応状況を確認するか、PCまたはグラフィックカードメーカーにお問い合わせください。

画面の色が正常ではない	
色が正常に表示されない	• 信号ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。 • グラフィックカードがスロットに正しく挿入されていることを確認してく ださい。 ※ グラフィックカードの確認をする際は必ずPC の電源をコンセントから抜いて確認してください。 • **[コントロールパネル]** > **[画面]** > **[Menu]** (OS によって異なりま す)から、OS 上の表示色を24bit または32bit のTrue Color に設定してください。
画面上に小さな点が表示される	• 液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け (ごく 小さな黒い点や赤、青、緑などの点) が見えることがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

音声が出力されない	
ヘッドホン端子に接続した音声機器から音声が出力されない (音が聞こえない)	• OSD ジョイスティックで音量を確認し、調整してください。 • PC のオーディオの出力先を、使用中のモニターに設定します。Microsoft Windows で **[コントロールパネル]** > **[ハードウェアとサ ウンド]** > **[サウンド]** の順に選択して、モニターを既定のデバイス として設定します。 • ヘッドホン端子に外部音声出力機器が正常に接続されていることを確認してください。 • WindowsやPC の再生ソフトウェアの音量レベルを確認してくださ い。 • 変換コネクタでPCのDVI端子と接続している場合は、DVI端子が音声信号の伝送に対応していないため、音声は出力できません。

一部のOSDメニューの設定ができない	
OSD で設定できない項目がある	• OSDがロックされています。**[Menu]** > **[全般]**の順に選択し、**[OSDロック]**を**[オフ]**に設定します。

製品仕様

LCD画面	タイプ	TFT（Thin Film Transistor） LCD（Liquid Crystal Display）画面	
	カラー階調	HDMI	10ビットカラーがサポートされています。
		DisplayPort	10ビットカラーがサポートされています。
	ピクセルピッチ	0.2325 mm x 0.2325 mm	
解像度	最大解像度	DP : 3440 x 1440 @ 144Hz DP : 3440 x 1440 @ 160Hz (Overclock:オン) HDMI : 3440 x 1440 @ 85Hz	
	推奨解像度	DisplayPort : 3440 x 1440 @ 144Hz HDMI : 3440 x 1440 @ 85Hz	
電源	電源定格	19 V ⎓ 5.0 A	
	消費電力	動作モード：72 W (標準)* スリープモード(待機モード)：≤ 0.5 W ** オフモード：≤ 0.3 W	
AC/DCアダプター	ADS-110CL-19-3 190110G、SHENZHEN HONOR ELECTRONIC製 または ADS-120QL-19A-3 190110E、SHENZHEN HONOR ELECTRONIC製 出力：19 V ⎓ 5.79 A		
環境条件	動作条件	温度	0～40 °C
		湿度	80%未満
	保管条件	温度	-20～60 °C
		湿度	85 %未満

寸法	モニターサイズ（幅 x 高さ x 奥行）	
	スタンド装着時	819.2 x 574.1 x 312.2 (mm)
	スタンドなし	819.2 x 361.6 x 104.4 (mm)
重量（パッケージを除く）	スタンド装着時	7.6 kg
	スタンドなし	5.5 kg

仕様は製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。
消費電力は操作条件や設定等によって変わります。
* オンモードの電力消費は、LG Electronicsの 試験規格（最大解像度で白を画面全体に出力した状態）で測定されます。
** 映像が信号を受信していないときに、一定の時間が経過(最大5分)すると、モニターはスリープモードになります。

工場出荷時モード

(プリセットモード、HDMI/DisplayPort PC)

プリセットモード	水平走査周波数(kHz)	垂直走査周波数(Hz)	極性(H/V)	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60.0	-/-	
1152 x 864	54.347	60.05	+/+	
1280 x 720	45	60	+/+	
1280 x 800	49.702	59.81	-/+	
1280 x 1024	63.981	60.02	+/+	
1280 x 1024	79.976	75.025	+/+	
1600 x 900	60.00	60.00	+/+	
1680 x 1050	65.29	59.954	-/+	
1920 x 1080	67.50	60	+/-	
1920 x 1080	83.894	74.973	+/-	
3440 x 1440	43.83	30.00	+/-	HDMI互換モード : オン
3440 x 1440	74.60	50.00	+/-	HDMI 接続のみ
3440 x 1440	89.52	60.00	+/-	DisplayPort 接続のみ
3440 x 1440	128.69	85.00	+/-	HDMI互換モード : オフ
3440 x 1440	148.99	99.99	+/-	DisplayPort 接続のみ

3440 x 1440	217.32	143.92	+/-	DisplayPort 接続のみ
3440 x 1440	241.6	160	+/-	*
2560 x 1440	183	120	+/-	HDMI 接続のみ
2560 x 1440	88.79	60	+/-	HDMI 接続のみ

* DisplayPort接続のみ, **Adaptive-Sync**: オン, **Overclock**: オン

使っている輸入タイミングがサポートされた周波数を超える場合、悪い応答スピードまたは画質を体験する恐れがある。

HDMI タイミング（映像）

工場サポートモード（プリセットモード）	水平走査周波数（kHz）	垂直走査周波数(Hz)	備考
480p	31.5	60	
720p	45	60	
1080p	67.5	60	
2160p	135	60	



製品のモデルとシリアルナンバーは製品の背面と側面にあります。
サービスの場合に必要があるからそれらを記録してください。

モデル _____

製造番号 _____

本製品に搭載されたGPL、LGPL、MPL およびその他のオープンソースライセンスの下で開発されたソースコードを取得するには http://opensource.lge.com を参照してください。ソースコードに加えて、すべての参照許可の条件、保証の免責事項と著作権通知をダウンロードできます。